

サタデープログラムニュース

講座番号 3 番 第一部 [9 : 30 ~ 11 : 00]

ラジ和尚 母校へ帰る

～檀家ゼロから千軒へ長谷雄蓮華の人生～

講師:長谷雄蓮華さん 大法寺(愛西市)住職



1974 年愛知県愛西市大法寺で生まれ、そして東海中学に入学、そして高校二年生で中退。

現在は愛知県愛西市の大法寺の住職。火災で全焼した本堂を再建し現在では千軒の檀家を持っている。

主な出演ラジオは CBC ラジオの「ラジ和尚」「終活応援団!長谷雄蓮華の人生楽々ラジオ」などに出演中。

また、過去にはテレビ朝日の「ぶっちゃけ寺」に出演されていたこともある。

○ 中学の時本堂が焼失

大法寺本堂は長谷雄さんが中三の時に焼失しています。その時、長谷雄さんは庫裡で朝ご飯を食べていました。急に変な音が聞こえてきたため外に出ると、本堂から煙が上がっていました。雪の日だったため消防車の到着が遅れ、本堂はすぐに焼けてしまったといいます。しかし、更に同級生からも慰められるどころか心ない言葉をかけられ、母親は「燃えたのは私のせいだ」と自分を責めるようになりました。いろいろなことが嫌になって自殺しようとしたこともあったそうです。

そして、高二の時にアルバイトをして貯めたお金で家を飛び出し、上京しました。上京後写真スタジオに入り、その後飲食店を経営し大儲け。しかし兄が平等院の養子に入ったことで、おまえはなにをやっているんだと声をかけられ、三年間僧の資格を取るために勉強し、再び二十四歳のときに大法寺に戻った。しかし、寺に残っているのは庫裡とクスノキのみで檀家もゼロでした。二十四歳の長谷雄さんは大法寺の再建をするためにどうすればいいかを考えました。ここから、檀家千軒になる原点です。

○葬儀の常識を一新

それでは、どうやって檀家を増やしていったのでしょうか？ 従来の方法では集まりません。まずは、他のお寺ではどうしているのかなどの情報を集めました。すると、長谷雄さんはあることに気がきます。それは、戒名をつけるお金が高すぎるということです。なんと、安いものでも数十万円もしています。これを長谷雄さんは無料にしました。さらに、経済的に苦しくて葬儀が出来ない人がいたため、お布施を25万円以下にしました。

つまり、無料でもいいということです。長谷雄さんの地域では、葬儀は多人数のお坊さんがやっていたのですが、長谷雄さん一人でやることにしたそうです。また、その葬儀も工夫をしようと考え、クオリティー上げ、声の出し方、動作、法話などの細かいところまで気持ちを込めてこだわって、施主さんによかったと思ってもらえるような葬儀にしました。

すると、檀家が一軒二軒と増えていくのです。そして、お説教が上手いお坊さんが居るとCBC ラジオからオファーを受け、檀家が一気に三ヶタになりました。他のお寺からの批判なども受けましたが、ついに平成二十六年、念願であった本堂を再建したのでした。

○人が抱える悩み

大法寺ではいろいろな悩みが電話、メール、直接の来寺で持ち込まれます。そこで、「命の相談会」というものを開催しています。病気や家族関係、死についての悩みなどいろいろなことが寄せられます。年代は若い人からお年寄りまで、一度どん底に落ちた経験を生かし悲しんでいる人を笑顔に変えてゆきます。

取材の時に長谷雄さんが、人は「死ねない苦しさ」というものがあるとおっしゃいました。例えば高校時代、長谷雄さんは何度も自殺未遂をしています。しかし首を吊ろうとしてもベルトがちぎれ、高い所から飛び降りても死ねない。人はそういう苦しみを乗り越えていかなければなりません。



大法寺

○当日は・・・

長谷雄さんに講演をして頂き、その後質問タイムも設けます。普段聞けない事などいろいろなことをどしどしお坊さんに質問してください。

この他にも書き切れなかった話も当日に話していただきますので、どうぞお楽しみに！
皆様のご来場をお待ちしております!!

文責: J11 中村兼彰, 徳光拓哉